

3・1独立運動から93年

朝鮮学校への差別をやめ、 日朝国交正常化の早期実現を！



今日3月1日は、天皇制日本の植民地支配下にあった朝鮮半島の民衆が、独立を求めて起ちあがった「3・1独立運動」が始まった日です。今から93年前の1919年3月1日、ソウルのパゴダ公園（現タブコル公園）に集結した何千人という朝鮮の民衆は、独立宣言を読み上げ、「大韓独立万歳！」のスローガンを叫びながら、市街を非暴力で平和的に示威行進しました。

日本の朝鮮に対する侵略・植民地支配がどれほど苛酷なものであったか、それに対して朝鮮の民衆がどれほど多くの犠牲を払いながら独立を求めて闘ってきたのか。3・1独立運動はそれをはっきりと示しています。そうした歴史を改めて振り返ることは、私たちがこれから日本と朝鮮、そして東アジアに平和で友好的な関係を築いていくためには欠かすことのできないことです。

< ☆ 3・1 独立運動とは >

ソウルで始まった3・1独立運動は、その後、朝鮮半島全土に拡大し、1年間に200万人とも言われる朝鮮民衆が参加したと言われています。ところが、これに非常な危機感を抱いた日本帝国主義—朝鮮総督府は、軍隊や警察などによって非暴力の民衆に一方的な弾圧を加えました。その被害はわずか1年間で死者7,645名、負傷者45,552名、被逮捕者49,811名にも上っています。日本軍による住民大量虐殺が複数行われたという記録も残っています。

3・1運動は日本による「韓国併合」が完全な失敗であったことを明らかにしました。力づくで押さえ込もうとするだけでは朝鮮民衆の独立運動を抑えられないことを知った総督府は、これ以後、朝鮮人にも「言論・集会の自由」などある程度認める「文化政治」—「同化政策」を進めることとなります。それはその後、朝鮮民衆から朝鮮の言葉を奪い、文化を奪い、名前までも奪って(ウラヘ)

アジェンダ・プロジェクト 京都

〒601-8022
京都市南区東九条北松ノ木町 37-7
Tel&Fax 075-822-5035
URL <http://www3.to/agenda/>

いく「民族抹殺政策」＝皇民化政策へとつながっていきました。

日本の植民地支配に反対して起ち上がった 3・1 独立運動は、その後の中国の 5・4 運動やインドの非暴力不服従運動などの反帝国主義闘争にも影響を与えました。しかし、そうしたアジアの民衆の闘いに、日本はさらなる弾圧を加えていったのです。1923 年 9 月の関東大震災下での朝鮮人大虐殺もまた、そういう流れの中にありました。独立を求めて抵抗する朝鮮民衆を大虐殺していた日本は、それを 3・1 や関東大震災でもくりかえし、その後さらに中国・東南アジアへと侵略を拡大させ、2000 万人ものアジア民衆を犠牲にしたのです。

< ☆朝鮮学校への差別反対！ >

1945 年の日本の敗戦によって朝鮮の民衆は植民地支配から解放されましたが、大国の利害にも翻弄され、今日まで続く南北分断を強いられています。その中で、日本は韓国とのみ国交をむすび、一貫して朝鮮への敵視政策を続け、分断に加担してきました。戦後 60 年以上もたつのに、過去の植民地支配の清算は何もなされず、隣国でありながら未だに日朝間には国交すらないという、世界的に見ても極めて異常な事態が続いているのです。まず、これを改めることから始めるべきなのです。

しかし逆に、朝鮮への日本政府の敵視政策は近年さらにエスカレートしています。特に子どもたちへの攻撃は悪質です。国による高校無償化からの朝鮮高校の排除に加えて、大阪・東京・埼玉・千葉・宮城の各都府県では長年続けられてきた朝鮮学校への補助金が打ち切られています。朝鮮の金政権と関係があるという政治的理由で、朝鮮にルーツを持つ子どもたちから民族教育を受ける権利を奪うことは、日本政府が批准している子どもの権利条約や人種差別撤廃条約にも明白に違反するものであり、許されるべきではありません。朝鮮学校がなぜこのような不利益を受けなければならないのでしょうか？ 東北朝鮮学校は「3・11」に際して自分たちも被災しながら日本の避難所に物資を届けるなどの活動に積極的に取り組んできました。ともにこの社会を担う隣人として、その権利は保障されるべきです

侵略・植民地支配を行った過去を清算し、日朝国交正常化の早期実現をはじめ、朝鮮半島一東アジアに平和を創っていくために積極的に行動する責任が、私たちにはあるのではないのでしょうか？ （2012 年 3 月 1 日）